

第三次葉山町総合計画後期基本計画パブリックコメントの実施結果について

No.	分類	意見の内容	町の考え方
1	重点プロジェクトについて	「中期基本計画」には「実施計画」があるが、「後期基本計画」には「実施計画」はあるのか？また、「中期基本計画・実施計画」の検証はなされたか？つまり、「後期基本計画」は、「中期基本計画・実施計画」でやり残したものを引き継ぐのか、一応の成果をあげたので次のステップへと進むものなのか、位置づけがわかりにくい。	「中期基本計画」と同様に「後期基本計画」の基本計画を実施していくための「実施計画」があります。後期基本計画の策定にあたり、「中期基本計画」の検証を行っています。「後期基本計画」は、「中期基本計画」を引き継ぎながらも施策の実施状況や内容を見直して新たに施策や取り組みを追加しています。
2	重点プロジェクトについて	重点プロジェクト1と3はリンクするものが多い。例えば、重点プロジェクト1の(4)「地域をともに支える新たな体制づくり」と重点プロジェクト3の(1)～(5)は理念が共通している。また、第4次総合計画では「協働」の概念とともに「自助(経済的自立支援)と共助(町民同士の助け合い推進)」の理念を加える必要を感じた。また「後継&新規参入」の施策についての言及も欲しい。	今後の参考とさせていただきます。
3	重点プロジェクトについて	重点プロジェクト2の「よみがえれ故郷の森・川・海」及び、「(1)海・海岸・川の保全」で、海岸砂浜の退行があるので、養浜の必要性に触れていないのは残念である。	重点プロジェクト、施策ともに海岸の保全をしていくとの方向性を持っており、砂浜の養浜も含んだものと考えています。
4	重点プロジェクトについて	「くれ竹の郷葉山構想」が「協働のまちづくり」と名称が変わったが、その趣意は、感想としては「協働のまちづくり」の方が意味が具体的でわかりやすいと思う。	「くれ竹の郷葉山構想」は町民との協働を意図したもので、現在、予算などの事業計画では「協働のまちづくり」を使用していることから名称の変更をするものです。
5	緑の保全	「二子山山系自然保護協議会」(または環境系ボランティア団体)の言及を追加してはどうか。(実施計画があればそこで記述してはどうか)。	実施計画策定の際、参考とさせていただきます。
6	緑の保全	町域の30%を占める「山林」の活用を政策として位置づけてはどうか。特に、NPO等の協力・協働を政策化すべきである。	ご意見として承ります。
7	緑の保全	第一次総合計画には、緑の保全のために「稜線の保全」という表現があり、とても良い施策と考えていましたが、第二次総合計画でこの表現が削除され、第三次総合計画にもありません。そのため、第三次総合計画後期基本計画の「(1)緑の保全」に「稜線の保全」の表現を追加してはどうか。	「主要施策」の「環境基本計画及び緑の基本計画の推進」に含んでいるものと考えております。

No.	分類	意見の内容	町の考え方
8	市街地の整備	「市街地の整備」について、「葉山町景観計画をさらに進め、景観条例の制定ほか景観法の諸制度を整備する」と景観整備の推進をより具体的に記述してはどうか。	現在の記載内容に同様の表現が含まれていると考えます。
9	市街地の整備	「開発に対する適正な制限」を追加してはどうか。	「まちづくり条例の適正な運用」に含まれるものと考えます。
10	公園・緑地の整備	公園や町有地のあり方について「適切な」を「柔軟な」と書き換えてはどうか(ex.一色台の「資源小屋」を視野にいれて)。 緑地については「緑の基本計画」に詳しいが、高台にある団地周辺の緑地(法地の緑)は引き続きの保全が必要と考えます。	基本方針で防災及び景観の観点から整備・保全を推進するとしており、そのために適正な管理が必要と考えています。 高台にある団地周辺の緑地の保全については事業実施の際、参考にさせていただきます。
11	道路の整備	「骨格道路体系の整備」に三浦半島中央道路(217号)は「早期完成」とあるのみで、「南郷から逗子沼間方面」へ延伸についての記述がない。 「生活道路の整備」について、「狭隘道路(小径)については葉山らしさを保つ視点から法解釈を柔軟に運用します」を追加してはどうか。	「骨格道路体系の整備」については、早期完成という表現に含んでいると考えています。三浦半島中央道路は横須賀側(南側)逗子側(北側)についても未共用であり、県に対し早期完成を要望しています。 「生活道路の整備」については、ご意見として承ります。
12	河川・橋りょうの整備	「河川・橋りょうの整備」について、防護柵の新規工事や付け替えにあたっては「素材・色」などについて自然と調和するよう配慮する(白色ガードレールを漸次茶褐色か濃緑のものにする)を追加してはどうか。 「魚の遡上を妨げている堰堤については魚道を設けるなど改善を図ります」を追加してはどうか。	ご意見として承ります。
13	海・海岸・川の保全	「河川水質の浄化」について、下水道のほか「ピオトープ」で水質改善を図ることを検討してはどうか。 「海岸の保全と美化」について、砂浜の後退が憂慮されているので、「養浜」が必要ではないだろうか。	「河川水質の浄化」については今後の参考にさせていただきます。 「海岸の保全と美化」については養浜も含め海岸の保全と捉えております。
14	下水道の整備	公共下水道の一本槍ではなく合併浄化槽導入を視野に入れ、地域的合理性を追究すべきではないか。	ご意見として承ります。
15	廃棄物の処理・再資源化の推進	「ごみ処理基本計画」の着実な実行を目指す。葉山町には「一般廃棄物処理基本計画」がない。早期策定を求める。	葉山町はごみ処理基本計画と生活排水処理基本計画をもって一般廃棄物処理基本計画として位置づけております。
16	地球温暖化対策・省エネルギーの推進	自然エネルギーの活用で、太陽光発電の推奨、またはその導入に対する補助の言及がない。	主要施策の中で「環境に負荷を与えないエネルギー利用や自然エネルギーなどの活用方法について検討する」としており、その中に含まれるものと考えております。

No.	分類	意見の内容	町の考え方
17	地域資源を生かした生活文化の継承と創造	基本方針について、「誰もが住みたい・住み続けたいまち」とあるが「葉山町景観計画」では「住んでみたいまち、訪れたいまち」とあり、そろえた方がいいのではないか。	後期基本計画での表現はアンケート調査における「住み心地について」「今後の居住意向」結果を受けての表現としておりません。
18	国際交流の推進 姉妹都市交流	「国際交流」と「姉妹都市交流」は施策として不要ではないのか。	町としては必要な施策と考えております。
19	湘南国際村の活用	湘南国際村B・C地区は「開発(失敗)の反省のもとに」の表現を追加してはどうか。 「湘南国際村フェスティバル」は町民にとって何の意味もないのではないか。	表現の追加は不要と考えています。 湘南国際村フェスティバルは、地域との交流を目的に開催されており、参加者数(平成22年度で48,000人)も町の人口を上回る集客があり、交流人口の面からも重要性は高いと考えます。
20	湘南国際村の活用	湘南国際村B・C地区では、ただ緑を再生・保全するだけでは意味がないと考えます。災害時にも避難場所、復興拠点として使えるようなインフラを整備し、必要あれば用途地域の一部変更も行なうなどして、優れた環境教育資源を作り活用していくべきではないか。	湘南国際村B、C地区は民間事業者より神奈川県が譲渡を受け、協働参加型の森づくりを進めています。ご意見については承り関係機関に伝えていきます。
21	生涯学習を支援する基盤の整備	教育委員会生涯学習課と企画調整課の重複(所掌)業務を統合してはどうか(ex.まちづくり展、まちづくり協会)。	機構改革の検討課題であると考えます。今後の参考とさせていただきます。
22	豊かな自己表現力(生きる力)をはぐむ学校教育の推進	特別支援教育について、きめ細やかな教育を進めていくために必要な「個別支援計画」の作成、見直し、更新の頻度を学校や先生の違いで差が生じないように共通のシステムに作りが必要である。また、計画作成から更新までのシステムが学校の中だけで終わらないように、「関係機関」である専門家との連携を強化すべきである。	支援が必要な子どもに対しては、個人差もありマニュアルでの対応は難しい面もあるので、個別支援計画を町全体のシステムとして捉え、発達支援の体制を整えることで就学前からの長い期間を見守っていく対応をしております。
23	生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進	「ヨットスクール」は疑問に思う(財政課題として)。	ご意見として承ります。
24	農業の振興	「余暇対策」としてではなく、「経済・産業活動」または「新規参入機会の場」として、休耕農地を活用する施策が必要ではないだろうか。	ご意見として承ります。
25	農業の振興	2009年に「にほんの里」100選の一つに選ばれた「上山口」の「循環の輪残る農の営み」を景観の保全と農業の在り方として活してはどうか。	ご意見として承ります。
26	漁業の振興	「都市住民との交流の推進」は、元は「遊歩道」のことを指していたのだと思うが、それがなくなった現在、「施設利用」とは何のことを指すのかわからなくなった。	漁港区域を中心とした区域全体での交流と捉えております。

No.	分類	意見の内容	町の考え方
27	地域福祉の充実	「『自助・共助・公助』の適正な体制と運用を図ります」を追加してはどうか。	「自助・共助・公助」の考え方は重要なことと考えます。ご意見として承り、事業実施の際参考とさせていただきます。
28	地域福祉の充実	障がいをもつ当事者を中心に考えた場合、保健、医療、教育、福祉、地域との繋がりなどはすべて一貫したものである必要があります。今までの葉山町は、ライフステージによって繋がりが切れたり、当事者や家族が頑張っていて動かないとサービスに辿りつけない現実がありました。当事者が安心して暮らせる一貫したシステムを確立すべく方向へ導いていただきたい。	ご意見として承り、事業実施の際参考とさせていただきます。
29	地域福祉の充実	青少年会館の建て替えが議会で承認されました。この地域には堀内会館もあり、青少年会館同様老朽化が問題になっており、青少年会館の建て替え時に「地域福祉センター」併設の検討をして欲しい。また、建設地は利便性もよく福祉活動の拠点として活用してはどうか。	青少年会館の建て替えは平成23年度に実施されるものであり、後期基本計画の計画期間ではないため計画への意見の反映は出来ません。
30	高齢者福祉の充実	「主要施策」の「高齢者の社会参加の促進」に、学校教育の推進の一環として、高齢者の教育部門への参加に関する記述を追加してはどうか。特に放課後の「居場所」とも併せて。	- 2 - (2)豊かな自己表現力(生きる力)をはぐくむ学校教育の推進の主要施策に「開かれた学校づくりの推進」に地域社会という表現をしており、その中に高齢者の社会参加も含まれるものと考えております。
31	障害者(児)福祉の充実	個別支援計画をもとに教育指導の充実とあるが、葉山6校では個別支援計画を立てるタイミング、学期ごとの見直しの仕方などは各学校でバラバラなのではないか。各学校でやり方が違ったり、先生の方針によって支援計画を作る作らないの差があるので充実した教育とはならないだろう。全ての学校において、配慮を要する子どもが安心して個に添った学習が出来るよう個別支援計画の共通マニュアルのもと、各学期ごとに保護者と計画達成度を確認し合い、計画の見直しや更新がなされるべきではないか。また、関係機関との強化の視点から、そこに専門家の意見も手配されるべきであると考えている。	支援が必要な子どもに対しては、個人差もありマニュアルでの対応は難しい面もあるので、個別支援計画を町全体のシステムとして捉え、発達支援の体制を整えることで就学前からの長い期間を見守っていく対応しております。
32	障害者(児)福祉の充実	「障がいのある人が自ら福祉サービスを選択・利用しながら住みなれた地域で自立した生活が送れるよう」とありますが、自らの選択が困難な人もいます。ケアマネージャーのようなコーディネーターを置き、要支援者が“自立”ではなく“自律”した生活が送れるようにサポートすべきではないか。	ご意見として承り、事業実施の際参考とさせていただきます。
33	障害者(児)福祉の充実	「住み慣れた地域で自立した生活ができるよう」とありますが、要支援者のグループホームやケアホームの用地斡旋、確保なども支援する必要がある。	個別計画の内容にあたりと考える。頂いたご意見は現在策定中の障害者福祉計画において参考にさせていただきます。

No.	分類	意見の内容	町の考え方
34	障害者(児)福祉の充実	「働く意欲のある人が」とありますが、障がいのある人が、葉山町の就労施設が手狭にある現実をどのように解決するのか、方向性を示していただきたい。	個別計画の内容にあたると考えます。頂いたご意見は現在策定中の障害者福祉計画において参考にさせていただきます。
35	所得保障の充実	「所得支援(公助)」から「就業支援(自助)」へ支援策の軸足を移行すべき。	ご意見として承ります。
36	所得保障の充実	「『できるだけ収入を』の精神で、就労支援及び所得の創出を図ります」を追加してはどうか。	ご意見として承ります。
37	住宅の充実	「高齢者の住居を確保するため、シェアハウス、グループホームなど、居住者のニーズに合った選択肢を用意します」を追加してはどうか。また、「地元金融機関と協働でリバースモーゲージ制度を導入します」を追加してはどうか。	今後の参考とさせていただきます。
38	国民健康保険・後期高齢者(長寿)医療の充実	主要施策の「制度の周知・改善」に、「ジェネリック医薬品の利用推奨については、よりわかりやすい啓発に努めます」を追加してはどうか。	記載内容に同様の表現が含まれていると考えます。
39	防災体制の確立	防災無線の難聴地域をなくすなど、情報難民をなくす。また、湘南ビーチFMの緊急時用サテライト局(予備放送設備)を設置及び充実させてはどうか。	民間企業との調整も必要であり、難しい面もありますがご意見として承ります。
40	防災体制の確立	住民に対し、地震(津波)災害への注意喚起を日常的に進めるため、三浦半島活断層情報、想定地震(東海、南関東など)情報を、町の情報提示として位置づけてはどうか。	「情報ルートの確立」に含まれていると考えております。また、地震災害については現在もホームページなどで情報提供に努めております。
41	地域活動の活発化と連携の促進	「コミュニティ活動の経済活動化を支援します」を追加してはどうか。また、「地域通貨の活動が円滑に図れるよう、地場産業に周知・推奨します。」を追加してはどうか。	ご意見として承ります。
42	町民参加・参画の推進	「機会の充実とともに制度整備を図ります」を追加してはどうか。	ご意見として承ります。
43	行政組織の簡素化・効率化と人材育成	「『行政改革大綱』を尊重します」を追加してはどうか。また、人件費(職員給与)及び「適性人員」について言及が欲しい。	「健全な財政運営の推進」の基本方針の中に「行政改革の推進」を追加します。

No.	分類	意見の内容	町の考え方
44	健全な財政運営の推進	「『中期財政計画』に沿った町の財政運用を図ります」や「借入総額ゼロを目指します」を追加してはどうか。	ご意見として承ります。
45	広域行政の推進	「原則として当町は『一部事務組合』への参加はしません」を追加してはどうか。	事業内容によっては、一部事務組合への参加が妥当と考えられることもあることから、個別に検討していく必要があると考えます。
46	地方分権の推進	「『自治基本条例』の導入を準備しています」を追加してはどうか。	「自治基本条例」については重要なものと認識しており、現在、検討を始めておりますが、今後の町のあり方に関わる条例でもあり、総合計画との関係も含めさらなる検討が必要と考えております。
47	全体	総合計画後期基本計画の全体的に言えることですが、目先のインフラの整備をする前に、「公図」とのズレを認識し、「地籍調査」を計画、実施すべきであると考えます。そのための方向性を示していく必要があるのではないかと。 地籍調査の必要性は、「地籍調査Webサイト」を見れば分かることですが、やらないことによるリスクは「土地の境界が不明確であるため、土地取引等を行う際にリスクを抱えます。都市再生への支障となります。災害復旧の遅れの要因にもなります。公共用地の適性管理への支障となります。課税の公平性の課題が生じます。適切な森林管理等への支障となります。」と多々あります。この総合計画後期基本計画にこそ、このことを盛り込み、葉山町全体の価値を上げていく必要があるのではないかと。	今後の検討課題として参ります。